

山形県の古木・名木 No.50

釜ノ越ザクラ (かまのこしざくら)

西置賜郡白鷹町大字高玉3436 釜ノ越公園内

胸高周囲約6m、樹高約20mのエドヒガンで、昭和61年6月17日、町指定天然記念物に指定されている。

遙かな時代を越え、人々に愛し育まれてきた名木で、ややうつむきながら咲く薄紅色の可憐な花のすがたは、見る人を楽しませてくれる。

開花期は4月25日頃。

「釜の越」は、古い地名である。樹下に立つ三個の無名巨石には、八幡太郎義家が居陣した時に、この石で竈を築き兵糧を炊いたとの伝説がある。

〔山形県森林協会〕

(案内略図)



釜ノ越ザクラ
(町指定天然記念物)

樹齢 約 800年
胸高周囲 約 6.0m
樹高 約 20.0m
種 類 エドヒガン
指定年月日 昭和61年6月17日

遙かな時代を越え、人々に愛し育まれてきた名木である。釜の越は古い地名である。樹下に立つ三個の無名巨石には、八幡太郎義家が居陣した時にこの石で竈を築き兵糧を炊いたとの伝説がある。

開花期は四月二十五日頃。
ややうつむきながら咲く薄紅色の可憐な花の姿は、見る人々を楽しませてくれる。

白鷹町教育委員会



【森林やまがた74号(2003年5月)記載】